

社會醫學竝ニ統計

奈良縣下ニ於ケル結核死亡者ノ統計的觀察 特ニ縣外發病者ノ家族感染關係ニ就テ(第三報)

奈良縣衛生技師 砂川正亮

目 次

第一章 緒 言	第四章 縣外發病者歸郷後ノ家族感染關係ニ就テ
第二章 縣外發病者出郷前ノ既往ニ於ケル家族感染關係ニ就テ	第一節 縣外發病者中ノ感染源
第一節 出郷前其ノ家族歴ニ感染關係有リシ者ノ觀察	第二節 感染源ニ對スル第二次感染
第三章 縣外發病者出郷後發病及死亡迄ノ諸觀察	第三節 家族總人員ニ對スル第二次感染
第一節 縣外發病者、發病後死亡迄ノ經過年月比較	第四節 第二次感染病類別
(イ)年齢別ヨリ觀タル經過年月	第五節 第二次感染年齡別
(ロ)職業別ヨリ觀タル經過年月	第六節 第二次感染者發病ヨリ死亡ニ至ル經過年月
第二節 發病後死亡迄ノ經過年月比較	第五章 家族感染關係
第三節 死亡月別比較	第六章 某小學校ニ於ケル教師兒童間ノ感染關係
	第七章 總括及結語

第一章 緒 言

昭和7年ヨリ同10年ニ至ル4年間、奈良縣下ニ於ケル結核死亡者3167人中1688名(53.3%)ハ縣外ニ於ケル感染發病者ニシテ而シテ其ノ病類別、年齢別、職業別、發病ヨリ死亡ニ至ル經過年月及是等各項ニ就テ縣内發病者トノ比較等ニ就テハ、曩ニ第2報ニ於テ報告セル所ナルモ尙トコノ縣外發病者ニ就テ各ソノ郷里ヲ出ル前ノ家族感染關係及出郷後感染發病スルマデノ經過期間ヲ調査シ、更ニ進シテ其ノ歸郷後ノ療養中、或ハ死亡後ニ於ケル家族感染關係ヲ調査シ尙ソノ第二次感染者ニ就テ種々觀察セル所ヲ茲ニ報告セントス。

而シテ縣外發病者ヲ感染源トシテ新ニ發生セル第二次感染者ノ調査ハ昭和7年ヨリ同12年末ニ至ル6年間ニ互リ、其ノ死亡セル者ハ各市町村役場ヘ提出セル死亡診斷書ニヨリ、療養中ノ患者ハ各地方醫師ノ「カルテ」ニヨリ又其他ノ者ハ實地ニソノ家庭ニ就キテ親シク診察シ、而シテ尙ホ不明ノモノハ除外セルモノナリ。縣外發病者歸郷後ニ感染源トナリ更ニ縣外發病者ヲ招來スルハ結核豫防上注意スベキ點ニシテ縣内發病者ノ如何ニ多キカ縣外發病者ヲ感染源トスルカヲ調査スル必要アリ、此ノ第3報ハ主トシテ此方面ニ就テ記セムトス。

第二章 縣外發病者出郷前ノ既往ニ於ケル家族感染關係ニ就テ

第一節 出郷前其ノ家族歴ニ感染關係有リシ者ノ觀察

所謂縣外發病者必ズシモ縣外ニテ感染セシトハ限ラズ、出郷前ノ既往ニ於ケル其ノ家族歴ニ於テ感染源ト認ムベキモノ無カリシヤ、コレヲ調

査セルニ第1表ノ如ク、昭和7年ヨリ同10年ニ至ル奈良縣結核死亡者中ノ縣外發病者1688人中328名(19.4%)ハ其ノ家族中ニ結核患者或

第 1 表 縣外發病者中、出郷前其ノ家族歴ニ感染關係有リシ者ト純縣外初感染者トノ別

市 郡 別	縣外發病者	出郷前家族歴ニ感染關係有リシ者		縣外初感染者		市 郡 別	縣外發病者	出郷前家族歴ニ感染關係有リシ者		縣外初感染者	
		人員	%	人員	%			人員	%	人員	%
奈 良 市	234	74	31.6	160	68.4	北 葛 城 郡	228	54	23.7	174	76.3
生 駒 郡	218	42	19.3	176	80.7	南 葛 城 郡	54	11	20.4	43	79.6
添 上 郡	90	15	16.7	85	83.3	宇 智 郡	98	21	21.4	77	78.6
山 邊 郡	89	15	16.9	74	83.1	宇 陀 郡	126	15	11.9	111	88.1
磯 城 郡	191	35	18.0	159	82.0	吉 野 郡	241	23	9.5	218	90.5
高 市 郡	116	23	19.8	93	80.2	計	1688	328	19.4	1360	80.6

ハ同病死亡者有リシヲ發見セリ。サレドコレハ割合ヨリレバ僅少ニシテ他ノ過半数ナル80.6%ハ出郷前ソノ家族ニ何等ノ感染關係ナク、明ニ縣外ニテ感染發病セシモノト觀ルヲ得ベシ。出郷前ソノ家族歴ニ感染關係有リシ者ノ市郡別高率順ハ

第一位 奈良市 31.6%

第二位 北葛城郡 23.7%

第三位 宇智郡 21.4%

マタ低率順ハ吉野郡9.5%、宇陀郡11.9%、添上郡16.7%ナリ。

コレヨリテ觀レバ市部平坦地方ニ高率ニシテ郡部山間地方ニ低率ナリ。

第三章 縣外發病者出郷後發病及死亡迄ノ諸觀察

第一節 縣外發病者、發病後死亡迄ノ經過年月比較

縣外發病者中 出郷前其ノ家族歴ニ感染關係有リシ者ノ發病ヨリ死亡迄ノ經過年月高率順ハ

第一位 1ヶ月以上6ヶ月以内 36.3%

第二位 7ヶ月以上1ヶ年以内 23.5%

第三位 1年1ヶ月以上1ヶ年半以内 18.9%ニシテ一方縣外初感染者ニ於テハ

第一位 1ヶ月以上6ヶ月以内 39.9%

第二位 7ヶ月以上1ヶ年以内 25.4%

第 2 表 縣外發病者中出郷前其家族歴ニ感染關係有リシ者ト純縣外初感染者トノ發病後死亡迄ノ經過年月比較

發病後死亡迄ノ年月別	縣外初感染者		出郷前家族歴ニ感染關係有リシ者		計		發病後死亡迄ノ年月別	縣外初感染者		出郷前家族歴ニ感染關係有リシ者		計	
	人員	%	人員	%	人員	%		人員	%	人員	%	人員	%
6ヶ月以内	513	39.9	119	36.3	662	39.2	3年7ヶ月以上4ヶ年以内	8	0.6	3	0.9	11	0.6
7ヶ月以上1ヶ年以内	345	25.4	77	23.5	422	25.0	4年1ヶ月以上4ヶ年半以内	4	0.3	2	0.6	6	0.4
1年1ヶ月以上1ヶ年半以内	263	19.3	62	18.9	325	19.3	4年1ヶ月以上5ヶ年以内	4	0.3	2	0.6	6	0.4
1年7ヶ月以上2ヶ年以内	89	6.5	30	9.1	119	7.1	5ヶ年以上	8	0.6	3	0.9	11	0.6
2年1ヶ月以上2ヶ年半以内	53	3.9	15	4.6	68	4.0	計	1360	100.0	328	100.0	1688	100.0
2年7ヶ月以上3ヶ年以内	25	1.8	9	2.7	34	2.0	總延月數	15460.0		4201.0		19661.0	
3年1ヶ月以上3ヶ年半以内	18	1.4	6	1.8	24	1.4	1人平均月數	11.4		13.8		11.6	

第三位 1 年 1 ヶ月以上 1 ヶ年半以内 19.3%
ノ順ナリ、即チ其ノ順位ニ於テハ兩者一ナレド其ノ率ニ於テハ縣外初感染者ハ、出郷前家族歴ニ感染關係有リシ者ヨリ高く、而モ 2 ヶ年以内、2 ヶ年半以内、3 ヶ年以内等ニ於テハコレニ相反セリ。以上ニヨリテ觀レバ縣外初感染者ハ、出郷前家族歴ニ感染關係有リシモノヨリモ、其ノ發病ヨリ死亡ニ至ル經過期間短ク、即チ早目

ニ死亡スルヲ知ルハシ。

總延年月數ヨリ割出シタル全平均ヨリ觀ルモ、既往ニ感染關係有リシモノノ 12.8 ヶ月ニ對シ縣外初感染者ハ 11.4 ヶ月ニシテ 1 人平均 1.4 ヶ月尠ナシ。

因ニ經過年月平均ノ算出ハ月ヲ單位トシ 1 日以上 30 日未滿ヲ 1 ヶ月トシ、1 ヶ月 1 日以上 1 ヶ月末日迄ヲ 2 ヶ月トシテ計算セリ。

第二節 縣外發病者中、出郷前其ノ家族歴ニ感染關係有リシ者ト、純縣外初感染者トノ死亡月別比較

縣外發病者中、出郷前其ノ家族歴ニ感染關係有リシ者ノ月別死亡高率順ハ

- 第一位 11 月 12.5%
- 第二位 12 月 11.3%
- 第三位 1 月 9.8%

ニシテ一方死亡低率順ハ 8 月 4.4%、7 月 5.1%、5 月 6.1% ノ順ナリ。又純縣外感染者ニ於ケル死亡月別高率順ハ

- 第一位 1 月 11.2%
- 第二位 2 月 10.1%
- 第三位 12 月 9.7%

ニシテ死亡低率順ハ 7 月 6.2%、8 月 6.7%、6 月 7.2% ノ順ナリ。兩者ト比較スルニ共ニ冬季寒冷ノ時節ハ死亡率高ク夏季暑熱ノ時節ニハ死亡率低シ。

第 3 表 縣外發病者中出郷前其家族歴ニ感染關係有リシ者ト純縣外初感染者トノ死亡月別比較

死亡月別	縣外初感染者		出郷前家族歴ニ感染關係アリシ者		計		死亡月別	縣外初感染者		出郷前家族歴ニ感染關係アリシ者		計	
	人員	%	人員	%	人員	%		人員	%	人員	%	人員	%
1 月	152	11.2	32	9.8	184	10.9	8 月	91	6.7	14	4.4	105	7.2
2 月	138	10.2	30	9.2	168	10.0	9 月	107	7.9	28	8.5	135	8.0
3 月	114	8.4	29	8.8	143	8.5	10 月	113	8.3	30	9.2	143	8.5
4 月	107	7.9	27	8.2	134	7.9	11 月	119	8.8	41	12.5	160	9.5
5 月	105	7.7	20	6.1	125	7.4	12 月	132	9.7	37	11.3	169	10.0
6 月	98	7.2	23	7.0	121	7.2	計	1360	100.0	328	100.0	1688	100.0
7 月	84	6.2	17	5.1	101	6.0							

第三節 縣外發病者、出郷後發病迄ノ經過年月比較

縣外發病者中、出郷前其ノ家族歴ニ感染關係有リシ者ノ、出郷後發病迄ノ經過年月高率順ハ

- 第一位 1 年 1 ヶ月以上 1 ヶ年半以内 22.2%
- 第二位 7 ヶ月以上 1 ヶ年以内 21.2%
- 第三位 1 年 7 ヶ月以上 2 ヶ年以内 19.4%
- 第四位 2 年 1 ヶ月以上 2 ヶ年半以内 13.2%
- 第五位 6 ヶ月以内 9.4%

- 第六位 2 年 7 ヶ月以上 3 ヶ年以内 8.3%
- 第七位 3 ヶ年以上 6.3%

又縣外初感染者ニ於ケル經過年月高率順ハ

- 第一位 7 ヶ月以上 1 ヶ年以内 21.1%
- 第二位 1 年 1 ヶ月以上 1 ヶ年半以内 22.7%
- 第三位 1 年 7 ヶ月以上 2 年以内 19.4%
- 第四位 2 年 1 ヶ月以上 2 ヶ年半以内 12.4%

第 1 表 縣外發病者中出郷前其家族歴ニ感染關係有リシ者ト純縣外初感染者トノ
出郷後發病迄ノ經過年月比較

出郷後發病迄ノ經過年月別	縣外初感染者		出郷前家族歴ニ感染關係アリシ者		計		出郷後發病迄ノ經過年月別	縣外初感染者		出郷前家族歴ニ感染關係アリシ者		計	
	人員	%	人員	%	人員	%		人員	%	人員	%	人員	%
6ヶ月以内	111	9.0	27	9.4	138	9.0	2年7ヶ月以上3ヶ年以内	94	7.6	24	8.3	118	7.7
7ヶ月以上1ヶ年以内	298	24.1	61	21.2	359	23.5	3ヶ年以上	59	4.8	18	6.3	77	5.1
1年1ヶ月以上1ヶ年半以内	281	22.7	64	22.2	345	22.6	計	1237	100.0	288	100.0	1525	100.0
1年7ヶ月以上2ヶ年以内	240	19.1	56	19.4	296	19.4	總延月數	21539.0		5194.0		26733.0	
2年1ヶ月以上2ヶ年半以内	154	12.4	38	13.2	192	12.6	1人平均月數	17.6		18.0		17.5	

第五位 6ヶ月以内 9.0%
 第六位 2年7ヶ月以上3ヶ年以内 7.6%
 第七位 3ヶ年以内 4.8%
 以上ノ如ク縣外初感染者ニ於テハ、第一位ハ1ヶ年以内ナレド、出郷前其ノ家族歴ニ感染關係有リシ者ニ於テハ1ヶ年半以内ガ最高率ヲ示セリ。其他ノ順位ハ兩者同様ナレド後者ハ前者ニ比シ概シテ經過期間長ク即チ遅ク發病スルヲ觀ルベシ。

又經過年月全平均ヲ觀ルニ、既往家族感染關係有リシ者ニ於テハ1人平均18.0ヶ月ナルニ既往ニ感染關係無キ縣外初感染者ニ於テ17.6ヶ月ヲ示セリ。

(イ) 年齢別ヨリ觀タル經過期間

縣外發病者出郷後發病迄ノ經過期間ヲ年齢別ニ觀ル時ハ第5表ノ如ク21歳—25歳及16歳—20歳ノ年齢層ニ於テハ7ヶ月以上1ヶ年以内ノモノ最モ多ク、次ハ1年1ヶ月以上1ヶ年半

以内、1年7ヶ月以上2ヶ年以内等ノ順ナリ。マタ15歳以下ノ幼、少年層ニ於テハ6ヶ月以内最モ多ク、次ハ7ヶ月以上1年以内、1年1ヶ月以上1ヶ年半以内等ノ順ナルガ、コレニ反シ4、50歳以上ノ老年及老年ニ近キ年齢層ニ於テハ短期間ニ發病スルモノハ尠ナク、即チ3ヶ年以上最モ多ク、次ハ2ヶ年7ヶ月以上3ヶ年以内、2ヶ年1ヶ月以上2ヶ年半以内等ノ順ヲ示セリ。尙26歳—30歳及31歳—35歳ノ年齢層ニ於テハ、1年1ヶ月以上、1ヶ年半以内最モ多ク、次ハ1年7ヶ月以上2ヶ年以内ノ順ニシテ、斯クノ如ク年齢別ニヨリ出郷後發病スル迄ノ經過期間ニ長短ヲ示ヒルハ、各其ノ年齢層ニ於ケル結核感染免疫ノ有無、心身ノ抵抗力及次節ニ述ブル所ノ職業上ノ關係等ニ因ルナランモ尙特ニコレハ疫學的ニ注意スベキカ初感染疾患ナルカ否カノ問題ナリ。若シ初感染疾患多ケレバ豫防接種ヲ考慮スベキナリ。

第 5 表 年齢別ニ觀タル縣外發病者、出郷後發病迄ノ經過期間

年齢別	6ヶ月以内	7ヶ月以上1ヶ年以内	1年1ヶ月以上1ヶ年半以内	1年7ヶ月以上2ヶ年以内	2年1ヶ月以上2ヶ年半以内	2年7ヶ月以上3ヶ年以内	3ヶ年以上	不明	計
	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	
1-5	11	6	2					3	22
%	50.0	27.3	9.1					13.6	
6-10	9	7	5	2	1			4	28
%	32.1	25.0	19.1	7.1	3.6			4.3	
11-15	14	12	7	6	4			9	52
%	26.9	23.1	13.5	11.5	7.7			27.3	

16—20	30	84	69	44	24	12	2	19	284
%	10.6	29.6	24.3	15.5	8.5	4.2		6.7	
21—25	35	126	109	87	47	29	5	34	472
%	7.4	26.7	23.1	18.4	10.0	6.1	1.1	7.2	
26—30	23	60	62	57	53	22	6	31	314
%	7.3	19.1	19.8	18.1	16.9	7.0	2.0	9.9	
31—35	11	39	16	37	15	6	7	21	181
%	6.1	21.5	25.4	20.4	8.3	3.3	3.9	11.6	
36—40	3	14	26	33	14	3	5	11	109
%	2.8	12.8	23.8	30.3	12.8	2.8	4.6	10.1	
41—45	2	8	13	18	7	9	6	8	71
%	2.8	11.3	18.3	25.4	9.9	12.7	8.2	11.3	
46—50		2	4	7	9	14	13	8	57
%		3.5	7.1	12.3	15.8	24.6	22.8	14.0	
51—55	1	1		2	8	8	9	4	33
%	3.0	3.0		6.1	24.2	24.3	27.2	12.1	
55—60			2	1	5	7	11	5	31
%			6.4	3.2	16.1	22.6	35.7	16.1	
61—以上				2	5	8	13	6	34
%				5.9	14.7	23.5	38.2	17.6	
計	138	359	345	246	192	118	77	163	1525
%	9.1	23.5	22.6	19.4	12.6	7.7	5.1		100.0

(ロ)職業別ニ於ケル經過期間

縣外發病者ノ職業的分野ニ於テハ、無職業者ヲ除キ其ノ數ノ最モ多キハ工業ニシテ、次ハ商業、公務自由業、農業、交通運輸業、家事使用人等ノ順ナルガ、茲ニソノ各別ニ於ケル出郷後發病迄ノ經過年月ヲ觀察スルニ、工業及交通業ニ於テハ1年1ヶ月以上1ヶ年半以内最モ多ク、次ハ1年7ヶ月以上2ヶ年以内ナリ。又商業ニ於テハ7ヶ月以上1ヶ年以内最モ多ク、次ハ1年1ヶ月以上1ヶ年半以内、公務自由業ニ於テハ1

年7ヶ月以上2ヶ年以内最モ多ク、次ハ2年1ヶ月以上2ヶ年半以内、農業ニ於テハ2年1ヶ月以上2ヶ年半以内最モ多ク、次ハ1年7ヶ月以上2ヶ年以内、無職業ニ於テハ7ヶ月以上1ヶ年以内最モ多ク、次ハ6ヶ月以内ナリ。即チ最モ早ク短期間ニ發病スルハ幼、少年ヲ多ク含ム無職業者ニシテ次ハ家事使用人、商業、工業、交通業、公務自由業等ノ順ニシテ、農業ニ從事セル者ノ如キハ最モ長期ヲ要ス。

第 6 表 職業別ニ觀タル縣外發病者ノ出郷後發病迄ノ經過期間

職業別	性別	6ヶ月以内	7ヶ月以上1ヶ年以内	1年1ヶ月以上1ヶ年半以内	1年7ヶ月以上2ヶ年以内	2年1ヶ月以上2ヶ年半以内	2年7ヶ月以上3ヶ年以内	3ヶ年以上	計
農 業	男	3	6	8	11	12	3	3	46
	女	2	4	7	9	10	4	5	41
	計	5	10	15	20	22	7	8	87
	%	5.8	11.5	17.2	23.0	25.3	8.0	9.2	100.0
工 業	男	18	47	106	69	41	14	11	306
	女	4	8	34	31	17	11	8	113
	計	22	55	140	100	58	25	19	419

	%	5.3	13.1	33.4	23.9	13.8	6.0	4.3	100.0
商 業	男	13	68	57	42	14	11	8	213
	女	5	25	13	12	6	4		65
	計	18	93	70	54	20	15	8	278
	%	6.5	33.5	25.2	19.4	7.2	5.4	2.5	100.0
文 通 業	男	4	5	11	19	8	7		54
	女		1	1	2	1			5
	計	4	6	12	21	9	7		59
	%	6.8	10.2	20.3	35.6	15.3	11.8		100.0
公務自由業	男	3	9	18	22	24	18	12	106
	女		3	7	12	7	5	1	35
	計	3	12	25	34	31	23	13	141
	%	2.1	8.5	17.7	24.1	22.0	16.3	9.2	100.0
家事使用人	男						1	2	3
	女	5	4	5	3	3	2	1	23
	計	5	4	5	3	3	3	3	26
	%	19.2	15.4	19.2	11.6	11.6	11.6	11.6	100.0
其他ノ有業者	男	2	3	7	6	9	6	4	37
	女	1	4	3	2	1	0	0	11
	計	3	7	10	8	10	6	4	48
	%	6.3	14.6	20.8	16.7	20.8	12.5	8.3	100.0
無 職 業	男	16	39	16	14	7	9	7	108
	女	62	133	52	42	32	23	15	359
	計	78	172	68	56	39	32	22	467
	%	16.7	36.8	14.6	12.0	8.4	6.9	4.7	100.0
計	男	59	177	223	183	115	69	47	873
	女	79	182	122	113	77	49	30	652
	計	138	359	345	296	192	118	77	1525
	%	9.0	23.5	22.6	19.4	12.0	7.7	5.1	100.0

第四章 縣外發病者歸郷後ノ家族感染關係ニ就テ

第一節 縣外發病者中ノ感染源

縣外發病者歸郷後ノ療養中、或ハ死亡後ニ於テ 感染者ノ數ヲ調査セルニ第7表ニ示セル如ク縣外
 ノノ家族中ニ結核ヲ感染セシメタル原因トナル 發病者1688名ニ對シ其ノ57.3%ニ當ル967名

第7表 縣外發病者中家族感染源トナル數及ソノ割合

市 郡 別	縣外發病者數	縣外發病者歸郷後ニ對スル感染源トナル數	縣外發病者ニ對スル感染源トナル割合	市 郡 別	縣外發病者數	縣外發病者歸郷後ニ對スル感染源トナル數	縣外發病者ニ對スル感染源トナル割合
奈良市	234	115	49.1	北葛城郡	228	130	57.0
生駒郡	218	123	56.4	南葛城郡	54	31	57.4
添上郡	90	47	52.2	宇智郡	98	56	56.1
山邊郡	89	51	57.3	宇陀郡	116	71	61.2
磯城郡	194	110	56.7	吉野郡	241	167	71.0
高市郡	116	66	56.9	計	1688	967	57.3

ヲ發見セリ(以下余ハコレヲ感染源ト稱ス)コレヲ市郡別ニ觀レバ吉野郡71.0%ニシテ最モ多

ク、次ハ宇陀郡61.2%、而シテ最モ低率ナルハ奈良市ノ49.1%ナリ。

第二節 感染源=因ル第二次感染

尙ホ縣外發病者歸郷後感染源トナレル967名一因リ更ニ新ニ感染發病セル者ハ(之ニ對シ余ハ第二次感染ト稱ス)1443名ヲ發見セラレ、感染源100ニ對シ第二次感染149.2ノ率ニ當レリ。コレヲ市郡別ニ觀ル時ハ吉野郡185.0%ニシテ最モ多ク次ハ宇陀郡169.0%、添上郡168.1%、生駒郡150.4%等ノ順ニシテ又最モ低率ナルハ奈良市109.6%、次ハ北葛城郡130.0%、宇智郡131.1%等ノ順ナリ。而シテ右ノ感染關係ヲ第二章ニ於テ述ベタル出

郷前ノ家族感染狀態ト對照スル時ハ興味アル事實ヲ發見スバク、即チ縣外發病者歸郷後ノ感染狀態ニ於テハ奈良市ノ如キ結核濃厚地ヨリモ吉野郡ノ如キ山間部ノ結核稀薄地帯トモ謂フベキ所ニソノ甚ダシキヲ知ルベシ。尙感染源=因リ斯ク多數高率ノ第二次新感染ヲ生ズルハ感染源1ニ對シ新感染1、或ハ1以上多キハ4名、5名モ生ズタル爲メニシテ之ノ平均セルモノガ縣下ヲ通ジテ149.2%ヲ示セル譯ナリ。

第 8 表 感染源=因ル第二次感染者ノ割合

市郡別	縣外發病者歸郷後感染源トナレル數	縣外發病者ヨリ感染セル者ノ數			感染源對感染者ノ割合	縣外發病者對感染源トナレル者ノ割合	市郡別	縣外發病者歸郷後感染源トナレル數	縣外發病者ヨリ感染セル者ノ數			感染源對感染者ノ割合	縣外發病者對感染源トナレル者ノ割合
		男	女	計					男	女	計		
奈良市	115	67	59	126	109.6	53.9	北葛城郡	130	96	73	169	130.0	74.1
生駒郡	123	111	71	185	150.4	84.9	南葛城郡	31	25	18	43	138.7	79.6
添上郡	47	41	38	79	168.1	87.8	宇智郡	56	40	37	77	131.1	71.5
山邊郡	51	37	38	75	147.1	84.3	宇陀郡	71	66	54	120	169.0	103.4
磯城郡	110	82	81	163	148.2	84.0	吉野郡	167	115	164	309	185.0	128.2
高市郡	65	50	47	97	147.0	83.6	計	967	763	680	1443	149.2	85.2

第一節 家族人員ニ對スル第二次感染

縣外發病者歸郷後、コレガ感染源トナリテ新ニ發生セル第二次感染者1443名ノ各家族ニ就キノ總人員ヲ調査シ、コノ家族人員ニ對スル新

感染者ノ割合ヲ觀レバ第7表ニ示セル如ク縣下ヲ通ジテ29.5%ナリ。而シテコレヲ市郡別ニ觀ル時ハ、最モ高率ナルハ吉野郡ノ36.8%ニシテ

第 9 表 家族總人員ニ對スル第二次感染ノ割合

市郡別	縣外發病者歸郷後感染源トナレル數	第二次感染者	家族總人員ニ對スル第二次感染者ノ割合	市郡別	縣外發病者歸郷後感染源トナレル數	第二次感染者	家族總人員ニ對スル第二次感染者ノ割合
奈良市	550	126	22.9	北葛城郡	710	169	23.8
生駒郡	622	185	29.7	南葛城郡	163	43	26.4
添上郡	242	79	32.6	宇智郡	259	77	29.7
山邊郡	268	75	28.0	宇陀郡	348	120	34.5
磯城郡	553	163	29.5	吉野郡	840	309	36.8
高市郡	339	97	28.6	計	4894	1443	29.5

次ハ宇陀郡ノ34.5%、添上郡ノ32.6%、マタ最モ低率ナルハ奈良市ノ22.9%、次ハ北葛城郡ノ23.8%、南葛城郡ノ26.4%ノ順ナリ。從來家族内傳染ヲ報告セルモノ其感染率ノ高低ニ至リテハ懸隔アリ Brinkmann ハ40.0%、Hillenbergh ハ2.9%、Kreis Sasrbruckea ハ48.9%ノ感染

率ヲ發表シ、尙夫婦間及近親者ノ感染關係ヲ報告セルモノマタ多數アレド、其ノ感染率ハ約2%ノ低キヨリ凡ソ40%ニ及ビ諸説區々アレド余ノ今回ニ於ケル調査ニアリテハ稍々其ノ中庸ニ在ルガ如シ。

第四節 第二次感染者病類別

縣外發病者歸郷後、於ケル家族感染者1443名ニ就キソノ病類別ヲ調査シ、コレヲ縣外發病者ノソレト比較スレバ第8表ノ如シ。即チ第二次感染ニ於テハ男女トモ肺結核最モ多ク男71.8%、女62.4%ノ過半数ヲ占メ、次ハ男ニ於テハ結核性肋膜炎11.3%、腸結核6.2%、女ニ於テハ結核性腹膜炎14.1%、結核性肋膜炎11.5%等

ノ順ナリ。コレヲ縣外發病者ニ於ケル病類別ト對照スル時ハ肺結核ニ於テハ男女平均4.6%ノ低率ヲ示シ、結核性肋膜炎ニ於テハ6.1%ノ高率ヲ示セリ。尙結核性腹膜炎及腸結核ニ於テハ稍々同率ナレドモ、關節其他ノ結核ニ於テハ縣外發病者ヨリモ高く、結核性腦膜炎ニ於テハ低率ナリ。

第 10 表 第二次感染者病類別

病 類 別		男		女		計	
		數	%	數	%	數	%
肺 結 核	縣外發病者	659	73.7	557	70.2	1216	72.0
	第二次感染者	548	71.8	424	62.4	972	67.4
結核性肋膜炎	縣外發病者	51	5.7	39	4.9	90	5.3
	第二次感染者	86	11.3	78	11.5	164	11.4
結核性腹膜炎	縣外發病者	46	5.1	90	11.3	136	8.1
	第二次感染者	24	3.1	96	14.1	120	8.3
結核性腦膜炎	縣外發病者	38	4.3	36	4.5	74	4.4
	第二次感染者	8	1.0	9	1.3	17	1.2
腸 結 核	縣外發病者	52	5.8	41	5.2	93	5.5
	第二次感染者	47	6.2	27	4.0	74	5.1
喉 頭 結 核	縣外發病者	34	3.8	13	1.6	47	2.8
	第二次感染者	8	1.0	18	2.7	26	1.8
關節其他ノ結核	縣外發病者	14	1.6	18	2.3	32	1.9
	第二次感染者	42	5.5	28	4.1	70	4.9
計	縣外發病者	894	100.0	794	100.0	1688	100.0
	第二次感染者	763	100.0	680	100.0	1443	100.0

第五節 第二次感染者年齡別

縣外發病者歸郷後ニ於ケル家族感染者ノ年齡別ヲ觀ルニ、16歳以上20歳以下27.7%ニシテ最モ多ク、次ハ21歳以上25歳以下25.3%、26歳以上30歳以下15.9%、31歳以上35歳以下8.8

%等ノ順ナリ。性別ニ於テ異ナル所ハ男ニアリテハ21歳以上25歳以下ガ27.1%ニシテ最モ多キニ、女ニアリテハ16歳以上20歳以下29.3%ニシテ最モ多シ。マタコノ感染者ノ年齡別ヲ

第 11 表 第二次感染者年齢別

年 齡 別		男		女		計	
		數	%	數	%	數	%
1 5 歲 以 上 下	縣外發病者	7	0.8	15	1.9	22	1.3
	二次感染者	14	1.8	15	2.2	29	2.0
6 10 歲 以 上 下	縣外發病者	10	1.1	18	2.3	28	1.6
	二次感染者	15	2.0	24	3.5	39	2.7
11 15 歲 以 上 下	縣外發病者	16	1.8	36	4.5	52	3.1
	二次感染者	29	3.8	36	5.3	65	4.5
16 20 歲 以 上 下	縣外發病者	148	16.6	136	17.1	284	16.8
	二次感染者	201	26.3	199	29.3	400	27.7
21 25 歲 以 上 下	縣外發病者	237	26.5	235	29.6	472	28.0
	二次感染者	207	27.1	158	23.2	365	25.3
26 30 歲 以 上 下	縣外發病者	180	20.1	134	16.9	314	18.6
	二次感染者	113	14.8	116	17.1	229	15.9
31 35 歲 以 上 下	縣外發病者	96	10.7	85	10.7	18.1	10.7
	二次感染者	76	10.0	51	7.5	127	8.8
36 40 歲 以 上 下	縣外發病者	59	6.6	50	6.3	109	6.5
	二次感染者	38	5.0	26	3.8	64	4.4
41 45 歲 以 上 下	縣外發病者	45	5.0	26	3.3	71	4.2
	二次感染者	28	3.7	22	3.2	50	3.5
46 50 歲 以 上 下	縣外發病者	39	4.4	18	2.3	57	3.4
	二次感染者	27	3.6	16	2.4	43	3.0
51 55 歲 以 上 下	縣外發病者	23	2.6	10	1.4	33	2.0
	二次感染者	15	3.0	9	1.3	24	1.7
56 60 歲 以 上 下	縣外發病者	18	2.0	13	1.6	31	1.8
	二次感染者	0		8	1.2	8	0.6
61 歲 以 上	縣外發病者	16	1.8	18	2.3	34	1.9
	二次感染者	0		0		0	
計	縣外發病者	894	100.0	794	100.0	1688	100.0
	二次感染者	763	100.0	680	100.0	1443	100.0

縣外發病者ノソレト比較スル時ハ、縣外發病者ニ於テハ男女トモ 21 歳以上 25 歳以下ノ數最モ

多キ一反シ第二次感染者女及男女平均トモニ 16 歳以上 20 歳以下ノ數最モ多シ。

第六節 第二次感染者發病ヨリ死亡ニ至ル經過年月別

縣外發病者歸郷後ニ於ケル第二次家族感染者中ノ死亡者 1243 名ニ就キソノ發病ヨリ死亡ニ至ルマデノ經過年月ヲ調査スルニ、男女トモ 1 ヶ月以上 6 ヶ月以内最モ多ク即男 42.9%、女 41.5%、平均 42.2%ヲ示シ、次ハ 7 ヶ月以上 1 ヶ年以内ハ男 23.1%、女 32.2%、平均 27.4%、1 年

1 ヶ月以上 1 ヶ年半以内ハ男 21.6%、女 17.0%、平均 19.5%等ノ順ナリ。コレヲ縣外發病者ト比較スレバ 1 ヶ年半以内ノ各期間ニ於ケル經過年月ニ於テハ第二次感染者ガ高率ナレドモ、之ニ反シ 1 ヶ年 7 ヶ月以上ノ各期間ニ於テハ縣外發病者ノガ比較的高率ヲ示セリ。

第12表 第二次感染者發病ヨリ死亡ニ至ル經過年月別

		男		女		計	
		數	%	數	%	數	%
1ヶ月以上 6ヶ月以内	縣外發病者	335	37.5	327	41.2	662	39.2
	二次感染者	284	42.9	241	41.5	525	42.2
7ヶ月以上 1年以内	縣外發病者	206	23.0	216	27.3	422	25.0
	二次感染者	153	23.1	187	32.2	340	27.4
1年1ヶ月以上 1ヶ年半以内	縣外發病者	194	21.7	131	16.5	325	19.3
	二次感染者	113	21.6	99	17.0	242	19.5
1年7ヶ月以上 2年以内	縣外發病者	74	8.3	45	5.7	119	7.1
	二次感染者	41	6.2	29	5.0	70	5.5
2年1ヶ月以上 2ヶ年半以内	縣外發病者	39	4.4	29	3.7	68	4.0
	二次感染者	23	3.5	18	3.1	41	3.3
2年7ヶ月以上 3年以内	縣外發病者	17	1.9	17	2.1	34	2.0
	二次感染者	8	1.2	9	1.5	17	1.4
3年1ヶ月以上 3ヶ年半以内	縣外發病者	12	1.3	12	1.7	24	1.4
	二次感染者	6		5		11	0.9
3年7ヶ月以上 4年以内	縣外發病者	5	0.6	6	0.8	11	0.7
	二次感染者	2		2		4	0.3
4年1ヶ月以上 4ヶ年半以内	縣外發病者	4	0.5	2	0.3	6	0.4
	二次感染者	2		1		2	0.2
4年7ヶ月以上 5年以内	縣外發病者	3	0.3	3	0.4	6	0.4
	二次感染者	1		0		1	0.1
5ヶ年以上	縣外發病者	5	0.6	6	0.8	11	0.7
	二次感染者	0		0		0	0
計	縣外發病者	894		794		1688	
	二次感染者	662		581		1243	
總延月數			6931.0		5873.0		12804.0
全平均月數			10.7		10.1		10.3

第五章 家族感染關係ノ著シキ例

縣外發病者ニシテ歸郷後家族感染關係ヲ惹起シタルモノ、中、特ニ其ノ著シキモノヲ左ニ例示スベシ。

第1例 高市郡阪合部村 〇〇〇 女、明治30年1月生、賣藥行商、昭和8年5月發病37歳、昭和9年6月死亡38歳、經過1年1ヶ月。

二次感染、長女 〇〇〇 女、大正12年7月生、小學生、昭和7年2月發病9歳、昭和8年4月死亡10歳、經過1年2ヶ月、二次感染、3女 〇〇〇、昭和6年3月生、無職、昭和9年1月發病3歳、昭和9年5月死亡3歳、經過1ヶ月。

二次感染、義妹 〇〇〇、大正2年5月生、家事手傳、昭和

9年2月發病21歳、昭和9年9月死亡22歳、經過7ヶ月。

第2例 高市郡天滿村、〇〇〇 女、明治43年11月生、女王、昭和5年9月發病20歳、昭和7年1月死亡22歳、經過1年4ヶ月。

二次感染、妹 〇〇〇、大正3年12月生、無職、昭和6年1月發病17歳、昭和7年5月死亡18歳、經過1年4ヶ月。

二次感染、妹 〇〇〇、大正元年9月生、無職、昭和6年5月發病19歳、昭和7年1月死亡20歳、經過11ヶ月。

第3例 高市郡阪合部村、〇〇〇 男、明治45

年 2 月生、職工、昭和 6 年 10 月發病 20 歳、昭和 7 年 8 月死亡 21 歳、經過 10 月。

二次感染、妹 []、大正 6 年 10 月生、無職、昭和 7 年 11 月發病 15 歳、昭和 8 年 3 月死亡 16 歳、經過 4 ヶ月。

二次感染、妹 []、大正 3 年 6 月生、無職、昭和 8 年 12 月發病 20 歳、昭和 9 年 7 月死亡 21 歳、經過 7 ヶ月。

第 4 例 宇智郡南河太村、福岡發病、[] 男、明治 44 年 8 月生、雜貨商、昭和 4 年 9 月發病 19 歳、昭和 5 年 11 月死亡 20 歳、經過 1 年 2 ヶ月。

第二次感染、父 []、明治 18 年 6 月生、雜貨商、昭和 6 年 3 月發病 47 歳、昭和 7 年 3 月死亡 48 歳、經過 1 年。

第 5 例 宇智郡宇智村、[] 明治 25 年 9 月生、時計修繕業、昭和 7 年 3 月發病 40 歳、昭和 8 年 5 月死亡 41 歳、經過 1 年 2 ヶ月。

第二次感染、妹 []、明治 43 年 3 月生、家事手傳、昭和 7 年 5 月發病 23 歳、昭和 7 年 12 月死亡 23 歳、經過 7 ヶ月。

第 6 例 宇智郡大河太村、[] 明治 11 年 5 月生、無職、昭和 2 年 1 月發病 50 歳、昭和 4 年 9 月死亡 52 歳、經過 2 年 9 ヶ月。

第二次感染、娘 []、明治 36 年 11 月生無職、昭和 3 年 1 月發病 26 歳、昭和 5 年 4 月死亡 28 歳、經過 2 年 4 ヶ月。

第 7 例 生駒郡三郷村、[] 男、明治 42 年 2 月生、鼻緒職、昭和 6 年 10 月發病 23 歳、昭和 7 年 3 月死亡 24 歳、經過 5 ヶ月。

第二次感染、妻 []、明治 44 年 5 月生、無職、昭和 9 年 9 月發病 24 歳、昭和 9 年 10 月死亡 24 歳、經過 1 ヶ月。

第 8 例 山邊郡福住村、[] 明治 38 年 9 月生、學生、昭和 2 年 6 月發病 23 歳、昭和 3 年 12 月死亡、24 歳、經過 1 年 6 ヶ月。

二次感染、兄 []、明治 32 年 7 月生、農業、昭和 5 年 8 月發病 32 歳、昭和 6 年 2 月死亡 33 歳、經過 7 ヶ月。

第 9 例 宇陀郡政治村、[] 明治 37 年 7 月生、萬年筆製造職、昭和 5 年 1 月發病 27 歳、昭和 5 年 3 月死亡 27 歳、經過 2 ヶ月。

二次感染、兄 []、明治 25 年 1 月生、農業、昭

和 6 年 2 月發病 39 歳、昭和 6 年 10 月死亡 39 歳、經過 9 ヶ月。

二次感染、弟 []、大正 7 年 6 月生、學生、昭和 7 年 1 月發病 14 歳、昭和 7 年 8 月死亡 15 歳、經過 7 ヶ月。

第 10 例 宇陀郡伊那佐村 [] 明治 21 年 3 月生、農業、昭和 4 年 6 月發病 42 歳、昭和 5 年 5 月死亡 43 歳、經過 1 ヶ年。

二次感染、長男 []、大正 3 年 8 月生、無職、昭和 6 年 3 月發病 17 歳、昭和 7 年 3 月死亡 18 歳、經過 1 ヶ年。

第 11 例 磯城郡纏向村、[] 明治 19 年 10 月生、茶商、昭和 8 年 8 月發病 47 歳、昭和 8 年 12 月死亡 47 歳、經過 4 ヶ月。

二次感染、2 男 []、昭和 3 年 3 月生、無職、昭和 9 年 12 月發病 7 歳、昭和 10 年 9 月死亡 8 歳、經過 9 ヶ月。

第 12 例 北葛城郡渡西村、[] 女、大正 3 年 1 月生、紡績女工、昭和 4 年 3 月發病 16 歳、昭和 5 年 3 月死亡 17 歳、經過 1 ヶ年。

二次感染、弟 []、昭和 2 年 1 月生、無職、昭和 7 年 4 月發病 6 歳、昭和 8 年 5 月死亡 7 歳、經過 1 年 1 ヶ月。

第 13 例 北葛城郡河合村、[] 女、明治 44 年 7 月生、日稼業、昭和 5 年 2 月發病 20 歳、昭和 6 年 2 月死亡 21 歳、經過 1 ヶ年。

二次感染、妹 []、大正 4 年 9 月生、無職、昭和 8 年 12 月發病 19 歳、昭和 10 年 3 月死亡 20 歳、經過 1 年 3 ヶ月。

第 14 例 吉野郡丹生村、[] 女、明治 35 年 1 月生、紡績女工、昭和 2 年 3 月發病 26 歳、昭和 4 年 7 月死亡 28 歳、經過 2 年 4 ヶ月。

二次感染、甥 []、昭和 7 年 4 月生、無職、昭和 8 年 2 月發病 1 歳、昭和 8 年 2 月死亡 1 歳、經過 1 ヶ月。

第 15 例 吉野郡丹生村、[] 女、大正 5 年 1 月生、紡績女工、昭和 5 年 10 月發病 15 歳、昭和 6 年 5 月死亡 16 歳、經過 7 ヶ月。

二次感染、姉 []、明治 44 年 12 月生、農業、昭和 6 年 6 月發病 20 歳、昭和 7 年 2 月死亡 21 歳、經過 8 ヶ月。

第 16 例 吉野郡下北山村、[] 女、明治 39 年 1 月生、紡績女工、昭和 3 年 3 月發病 23 歳、昭和 4 年 2 月死亡 24 歳、經過 11 ヶ月。

二次感染、妹■■■■、明治44年11月生、農業、昭和4年8月發病19歳、昭和5年5月死亡20歳、經過9ヶ月。

第17例 吉野村十津川村、■■■■男、明治42年8月生、大工職、昭和3年2月發病20歳、昭和4年4月死亡21歳、經過1年3ヶ月。

二次感染、兄■■■■、明治45年3月生、農業、昭和9年6月發病23歳、昭和9年11月死亡23歳、經過5ヶ月。

第18例 吉野郡小川村、■■■■女、大正2年4月生、紡績女工、昭和6年1月發病18歳、昭和7年3月死亡19歳、經過1年2ヶ月。

二次感染、姉■■■■、明治43年11月生、農業、昭和8年1月發病22歳、昭和8年6月死亡23歳、經過5ヶ月。

二次感染、妹■■■■、大正6年5月生、無職、昭和7年9月發病16歳、昭和9年1月死亡17歳、經過1年4ヶ月。

第19例 吉野郡四郷村、■■■■男、明治39年9月生、袋物製造職、昭和6年10月發病26歳、昭和8年12月死亡28歳、經過2年2ヶ月。

二次感染、妹■■■■ 大正2年2月生、農業、昭和7年5月發病19歳、昭和7年12月死亡19歳、經過7ヶ月。

第20例 添上郡明治村、■■■■男、明治38年6月生、會社員、昭和8年5月發病28歳、昭和9年7月死亡30歳、經過1年2ヶ月。

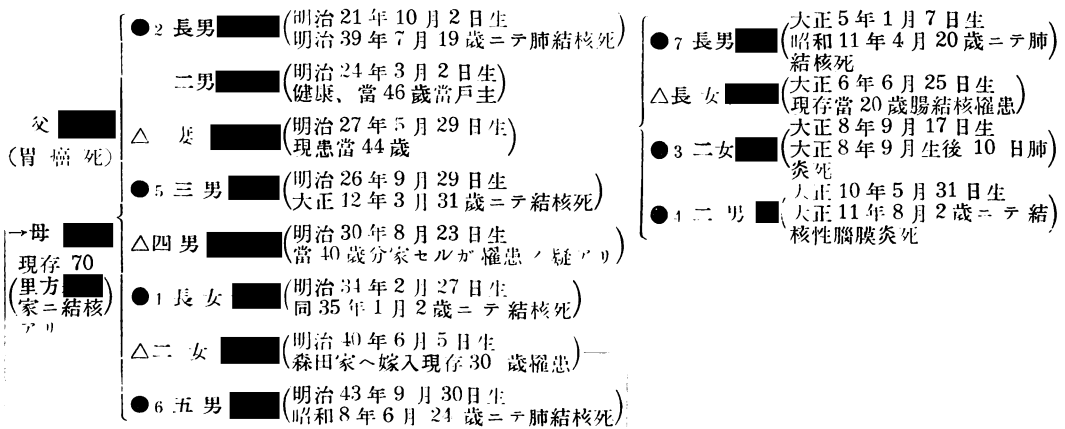
二次感染、父■■■■、明治10年9月生、無職、昭和9年12月發病58歳、昭和10年8月死亡58歳、經過8ヶ月。

第21例 吉野郡大塔村、■■■■男、大正4年11月生、會社職工、昭和5年5月發病16歳、昭和6年6月死亡17歳、經過1年1ヶ月。

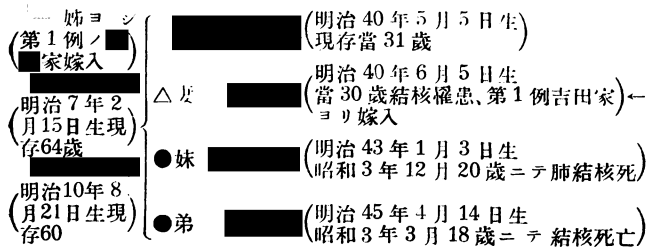
二次感染、母■■■■、明治20年2月生、無職、昭和8年2月發病16歳、昭和9年3月死亡17歳、經過1年1ヶ月。

家族感染關係ノ特ニ著シキ事例

第1例 Y家感染關係



第2例 M家感染關係



即チ第1例■■■■家ニ於テハ■■■■(19)ガ初メ肺結核死亡、次テ弟、妹及甥、姪等ニ感染發病シ、妹■■■■モ感

染シテ其ノ嫁入先ナル■■■■家(第2例)ニ至リ其ノ夫ノ弟、妹ニモ感染發病途ニ死ニ至ラシメタリ。

第 3 例 一家感染關係

- 長男 ■ (明治 31 年 3 月 11 日生) (大正 9 年 5 月頃發病) (同 10 年 6 月 25 歳肺結核死)
 - 二男 ■ (明治 31 年 1 月 2 日生) (大正 11 年 11 月發病) (同 12 年 3 月 24 歳肺結核死)
 - 三男 ■ (明治 38 年 7 月 3 日生) (明治 38 年 12 月 1 歳肺管炎死)
 - 長女 ■ (明治 39 年 12 月 5 日生) (昭和 7 年 1 月頃發病) (同 7 年 8 月 30 歳肺結核死)
 - 四男 ■ (明治 44 年 2 月 3 日生) (昭和 8 年 2 月發病) (同 9 年 1 月 25 歳肋膜炎死亡)
- 妻 ■ (文久 3 年 12 月 17 日生) (昭和 7 年 1 月發病) (同年 9 月肺結核死)
- 母 ■ (天保 12 年 9 月 3 日生) (昭和 4 年 10 月發病) (同 5 年 4 月肺結核死)

即チ第 3 例ニ於テハ初メ長男(21歳)及 2 男(22歳)が前後シテ肺結核發病、各 1 年内外ニテ死亡セルガ其ノ後 5、6 年ヲ經テ母及父が相次テ發病シ、レモ 1 年以

内ニ死亡シ、更ニ間モナク長女(30歳)及 4 男(25歳)モ發病死亡シ、斯クシテ 14、5 ヶ年間ニ一家全滅ノ悲惨事ヲ現出セリ。

第六章 縣下某小學校ニ於ケル教師兒童間ノ感染關係

余ハ茲ニ奈良縣下ニ於ケル小學校兒童 4119 人及中等學校生徒 4735 人ニ就キ「ツバルクリン」皮内反應成績ヲ調査セルガ其ノ内、小學兒童ニ於テ陽性反應ヲ示セルモノ 23.5%ノ平均陽性

率ナルガ、之ヲ各學校別及學級別ニ觀タルニ某小學校ニ於テハ 31.7%ノ高率ヲ示シ、且ツ其ノ 1 學級ニ於テハ第 11 表ノ通り男 96.4%、女 90.3%ノ異常ナル高率ヲ示セルヲ以テ其ノ原

第 13 表 奈良縣 ■ 小學校ニ於ケル學級別「ツ」反應成績

學級性別	検査人員	陰 性			陽 性			陽性%		
		—	±	計	+	++	+++			
尋一	男	22	15	4	19	1	1	1	3	13.6
	女	29	25	1	26	1	1	1	3	10.4
尋二	男	27	21	2	23	0	2	2	4	14.8
	女	23	21	1	22	0	1	0	1	4.4
尋三	男	24	19	1	20	0	1	3	4	16.7
	女	20	10	2	12	0	1	7	8	80.0
尋四	男	28	1	0	1	0	4	23	27	96.4
	女	31	3	0	3	0	5	23	28	90.3
尋五	男	21	12	2	14	2	0	5	7	33.3
	女	25	17	4	21	0	2	2	4	16.0
尋六	男	28	17	9	26	1	1	0	2	7.1
	女	29	24	2	26	0	2	1	3	10.3
高一	男	29	17	0	17	0	5	7	12	41.4
	女	22	10	1	11	1	2	8	11	50.0
高二	男	30	17	5	22	2	2	4	10	33.3
	女	19	12	3	15	0	0	4	4	21.1
計	男	209	119	23	142	6	16	45	67	31.6
	女	198	122	14	136	2	14	46	62	31.3
合計	407	241	37	278	8	30	91	129	31.7	

因ヲ探求セル結果、該學級受持ノ教師ガ肺結核患者ニシテ初年級ノ時ヨリ持上リ擔任セシ事實ヲ知り得タリ。之ハ昭和12年4月東京帝大ニ開會サレシ日本結核病學會ニ於テ既ニ發表セル所ナリ。

新井技師ノ東京府下小學校ニ於ケル調査ニ於テ6年女子組90.6%ノ「ツ」反應陽性率ヲ發見シ其ノ原因ガ擔任教師ノ結核ニアルコトヲ報告サレタルガ、余ガ調査ノ結果モ之ト同ジク且ツ之ヨリモ更ニ高率ヲ示セルナリ。

第七章 總括及ヒ結語

昭和7年ヨリ同10年ニ至ル4年間、奈良縣下ニ於ケル結核死亡者中ソノ53.3%ヲ占ムル縣外發病者1688名ニ就キ其ノ家族感染關係ヲ調査セル結果次ノ如シ。

1. 縣外發病者ニシテ出郷前ソノ家族中ニ結核患者或ハ同死亡者有リシモノ19.4%ヲ發見シ其他ノ大部分ハ既往ノ家族歴ニ何等感染關係無キヲ以テ縣外ニテ感染發病セシモノト認ム。

1. 縣外發病者出郷前ノ既往家族感染關係有ル者ヲ市郡別ニ觀レバ奈良市31.6%ニシテ最モ多ク、次ハ北葛城郡23.7%、最モ少キハ吉野郡9.5%、次ハ宇陀郡11.9%ニシテ市郡及平坦郡部ニ高ク山間部ニ低率ナリ。

1. 縣外發病者中出郷前ノ既往家族感染有ルモノト、無キモノ即チ縣外初感染者トノ各種比較觀察ノ結果次ノ如シ。

(イ) 出郷後發病迄ノ經過年月ヲ觀ルニ感染關係有ル者ニ於テハ1ヶ年半以内最モ多ク、次ハ1ヶ年以内、2ヶ年以内ノ順ナルガ、感染關係無キ方即チ縣外初感染者ニ於テハ1ヶ年以内最モ多ク、次ハ1ヶ年半以内、2ヶ年以内ノ順ニシテ其ノ他概シテ感染關係無キ方ハ有ル方ヨリモ經過期間短ク、即チ早期ニ發病スルヲ認ム。延經過月數ヨリ割出シタル1人平均ニ於テハ感染關係有ル方ハ18ヶ月ニシテ、無キ方ハ17.6ヶ月ナリ。

(ロ) 發病ヨリ死亡ニ至ル經過年月ニ於テハ感染關係無キ方ハ、有ル方ヨリモ經過期間短シ、1人平均經過期間ヲ觀ルニ感染關係有ル方ハ12.8ヶ月ニシテ、感染關係無キ方ハ11.4ヶ月ナリ。以上ノコトハ今村教授ノ所謂初感染疾患ノ多數ニアルヲ示スモノナリ。

(ハ) 死亡月ノ高率順ハ、感染關係有ル者ニ於テハ11月、12月、1月ノ順、感染關係無キ方ニ於テハ1月、2月、12月ノ順ニシテ共ニ冬季寒冷ノ時節ニ死亡高ク夏季暑熱ノ候ニ死亡率低シ。

1. 縣外發病者、出郷後發病迄ノ經過年月ヲ年齢別ニ觀ル時ハ、21歳—25歳及16歳—20歳ノ年齢層ニ於テハ7ヶ月以上1ヶ年以内ノ者多ク15歳以下ノ幼、少年層ニ於テハ6ヶ月以内ノ者多ク、又4、50歳以上ノ老年及年齢層ニ於テハ短期間ニ發病スルモノ少ナク、3ヶ年以上最モ多シ。

1. 縣外發病者、出郷後發病迄ノ經過年月ヲ職業別ニ觀ル時ハ、工業及交通業ニ於テハ1年1ヶ月以上1ヶ年半以内ノ者最モ多ク、商業ニ於テハ7ヶ月以上1ヶ年以内多ク公務自由業ニ於テハ1年7ヶ月以上2ヶ年以内多ク、農業ニ於テハ2年1ヶ月以上2ヶ年半以内ノ者多ク、マタ無職業ニ於テハ7ヶ月以上1ヶ年以内最モ多シ、即チ最モ早く短期間ニ發病スルハ幼、少年ヲ多ク含ム無職業ニシテ、次ハ家事使用人、商業、工業、交通業、公務自由業等ノ順ニシテ農業ハ最モ長期ナリ。

1. 縣外發病者、出郷後發病迄ノ經過年月全平均ヲ性別ニ觀レバ男18.2ヶ月、女16.6ヶ月、男女ヲ通ジテ17.5ヶ月ナリ。

1. 縣外發病者歸郷後ノ療養中及死亡後ソノ家族ニ結核感染發病ヲ來シタルモノ149.2% (感染源100ニ對スル感染者ノ割合)ノ多數ヲ發見セルハ頗ル注目スベキ現象ナリトス。之ヲ市郡別ニ觀レバソノ最モ高率ヲ示セルハ吉野郡ノ185.0%ニシテマタ最モ低率ナルハ奈良市ノ

109.6%ナリ。蓋シ市部平坦部ノ結核濃厚地ヨリモ山間部ノ結核稀薄地帯トモ謂フベキ所ニ高率ナリ。

1. 縣外發病者歸郷後ニ於ケル第二次感染者一就キノノ病類別ヲ觀ルニ、男女トモ肺結核最モ多ク、次ハ男ニ於テハ結核性肋膜炎、腸結核、女ニ於テハ結核性腹膜炎、結核性肋膜炎等ノ順ナリ。

1. 第二次感染者ノ年齢別ヲ觀ルニ16歳—20歳27.7%ニシテ最モ多ク、次ハ21歳—25歳25.3%ニシテ即チ青年層ニ於テ高率ナリ。性別ニ於ル特徴ヲ觀レバ男—於テハ21歳—25歳最モ多キモ女ニアリテハ16歳—20歳最モ多シ。

1. 第二次感染者發病ヨリ死亡ニ至ル經過年月ヲ觀ルニ、男女トモ1ヶ月以上6ヶ月以内最モ多ク、次ハ7ヶ月以上1年以内ナリ。全平均經過月數ハ男10.5ヶ月、女10.1ヶ月、男女ヲ通ジテ10.3ヶ月ナリ。

1. 「ツバルクリン」皮内反應陽性率90%以上ノ高率ヲ示セル縣内某小學校ノ感染關係ヲ探究ノ結果、該學級擔任ノ教師ガ肺結核患者ナル事實ヲ知り得タリ。

1. 尙家族ニ結核罹患及結核死多キ少數例ヲ記セルガ其慘狀注目ニ値ス。

以上ノ調査ニヨリ、余ハ縣外發病者ガソノ出先

ヨリ病菌ヲ携ヘ歸リ、清淨ナル郷里ヲ如何ニ汚染スルモノナルカヲ觀察シ得タリ、從來諸學者ノ文獻ニヨルニ夫婦及家族間ノ結核感染率ノ過少ナル報告多ケレド、余カ今回ノ調査ニ於テハ全クコレニ反シ、縣外發病者歸郷後ニ於ケルソノ家族間感染ハ相當高ク即縣外發病者中ニ生ジタル感染源100ニ對スルニ二次感染149.2%ヲ發見シ、之ヲ其ノ家族總人員ト對比スル時ハ29.5%ノ感染率ヲ示セリ。而シテ結核稀薄地帯タル山間部ニ於テ殊ニ感染率ノ高率ナルハ注目スベキ現象ナリ。奈良縣下結核死3167名中、縣外發病者53.3%ナルガ、其殘リ縣内發病46.7%ノ中ニモ縣外發病歸郷患者ヨリノ感染發病ガ相當多數アル可シ。

以上ニヨリ結核豫防上ヨリ見レハ縣外發病者歸郷後ノ家族ニ對スル豫防ノ緊要タルコトヲ知ルベキナリ。而シテ出郷後縣外發病者ニハ初感染疾患ト認ムベキモノ多ク、其ノ豫防ハ豫防接種其他ニヨリ策ヲ講ズベキナリ。

擱筆スルニ臨ミ、御懇篤ナル御指導、御接問ヲ賜ハリタル大阪帝國大學教授、今村荒男博士ニ深く感謝シ、尙本調査ニ當リ御助言ヲ賜ハリタル稅所亥二郎博士及種々便宜ヲ與ヘラレタル奈良縣下醫師諸賢、各警察署長、各市町村役場ニ對シ敬意ヲ表ス。

主要文獻

- 1) 今村荒男, 日本醫事新報, 第793號, 昭和12年11月。
- 2) 今村荒男, 日本醫事新報, 第794號, 昭和12年11月。
- 3) 今村荒男, 日本醫事新報, 第796號, 昭和12年12月。
- 4) 今村荒男, 日本醫事新報, 第805號, 昭和13年2月。
- 5) 今村荒男, 日本醫事新報, 第811號, 昭和13年3月。
- 6) 今村荒男, 日本醫事新報, 第813號, 昭和13年4月。
- 7) 今村荒男, 實驗治療, 第185號。
- 8) 平尾稔, 八木通夫, 大阪醫事新誌, 第8卷, 第1號, 昭和12年1月。
- 9) 今村荒男, 結核, 第

- 15卷, 第5號, 昭和12年5月。
- 10) 稅所亥二郎, 診療, 第1年, 第7號。
- 11) 遠藤繁清, 結核, 第3卷, 第6號, 大正14年8月。
- 12) 紙野圭三, 結核, 第5卷, 第10號, 昭和2年10月。
- 13) 砂川正亮, 結核, 第13卷, 第1號, 昭和10年1月。
- 14) 野村禮之, 日本學校衛生, 第20卷, 第7號乃至第10號。
- 15) 新井英夫, 結核ノ臨床, 昭和13年10月號。
- 16) 砂川正亮, 結核, 第15卷, 第3號, 昭和12年3月。